

# 就労率が8割を超えた 女性の健幸を考える

内閣府SIP「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」の取り組みから見たこと



健康経営から Well-being 経営へ  
- 企業においてなぜ転換が必要か? -

座長・演者

久野 譜也

内閣府 SIP 「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」  
プログラムディレクター (PD) /  
筑波大学大学院人間総合科学学術院 教授



「見えない損失」を可視化する  
- 見過ごされてきた女性の不調と職域戦略 -

演者

北出 真理

サブPD /  
順天堂大学 医学部産婦人科学講座 教授



“育児期の壁”は産業保健で変えられる  
- 母子保健 × DX 伴走型支援 MOM UP PARK -

演者

塚尾 晶子

PD補佐 /  
株式会社つくばウエルネスリサーチ 取締役副社長・保健師



日時

2026年5月29日(金)  
12:25-13:25

場所

大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)  
第2会場 (大阪国際会議場 3F イベントホール E)

参加申込フォームはこちら

<https://convention.jtbcom.co.jp/sanei99/join/index.html>



〈共催〉  
国立研究開発法人  
医薬基盤・健康・栄養研究所



「世の中ちょっと良くなる部」とは 内閣府の国家プロジェクト「戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)」のひとつ、「包摂的コミュニティプラットフォームの構築」に向けた活動の総称です。女性の健康や多様な生き方の支援、高齢者や障がい者の孤立防止、地域や世代を超えたつながりづくりなどの領域で、AI やデジタル技術、教育、福祉、金融を組み合わせ、コミュニティを再生・強化する“社会技術”を開発し、社会に広げています。